

2023 年度 一般社団法人日本臨床化学会 第 2 回理事会（拡大理事会）議事録

日 時：2023 年 10 月 27 日（金）18：00-19：20

会 場：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター sola city Hall EAST

議 長：三井田孝（理事長）

出席者：三井田孝（理事長）

石井直仁、大川龍之介、菅野光俊、山田俊幸、吉田 博（以上 常務理事）

川崎健治、恵 淑萍、小谷和彦、酒瀬川信一、坂本秀生、城野博史、中川沙織、

橋口照人、濱田悦子、堀田多恵子、山口哲史、山下計太（以上 理事）

前川真人、三浦雅一（以上監事）、廣渡祐史（常置委員会委員長）、

上田一仁、加藤公則、末廣 寛、吉田 繁（以上 支部長）、高野須広道（支部長代理）

欠席者：河野麻理、仁井見英樹（理事）、梅北邦彦、松下 正、眞野成康（以上 支部長）

理事出席者数 18 名（全理事数 20 名）、全出席者数 26 名

議 題

1. 開会の辞（三井田 理事長）

- ・ 本会名誉会員である辻章夫先生、宮井潔先生への黙祷を行ったあと、理事長から開催のご挨拶があった。
- ・ 理事 20 名中 18 名の出席があり、会議は成立したため、理事会を開会した。

2. 第 63 回年次学術集会長挨拶（吉田 年次学術集会長）

- ・ 第 63 回年次学術集會会長の吉田先生からご挨拶があった。

3. 議事録確認者の指名（三井田 理事長）

- ・ 大川理事、橋口理事が指名された。

4. 報告事項

1) 庶務報告（吉田 庶務担当理事）

①学会会員現状報告

- ・ 2023 年 9 月 30 日時点で、正会員 1,490 名、正会員（30 歳未満）148 名、評議員 167 名となっており、会員数は増加している。若手の会員が増えたため、健全な運営を行うことができる。

②事業報告・事業計画

- ・ 2023 年 4 月以降理事会のほか各種委員会などを開催し、学会誌は順調に発行している。本理事会以降も会議、学会誌発行など予定している。

2) 2023 年度会計中間報告（菅野 担当理事）

- ・ 2023 年 4 月～9 月までの会計中間報告がなされた。順調に処理を進めている。

3) 常置委員会報告

①編集委員会報告（城野 編集担当理事）

- ・ 学会誌は、52-1 号～52-3 号までを発刊した。
- ・ ACB の購読者数が減少しているため、購読料の差額を学会で負担している。是非購読をお願いしたい。
- ・ 学会だよりの一部をニュースレターに移行する。
- ・ トピックスとジャーナルトピックスをまとめて「トピックス」とする。
- ・ 投稿規定からミニレビューを削除する。

②国際交流委員会報告（坂本 国際交流担当理事・委員長）

- ・IFCC eNews に2022年度学会賞受賞者の紹介を掲載した。
- ・Medical Laboratory Professionals Global Week に動画を掲載した。
- ・Adaptive Learning for Laboratory Medicine 多言語翻訳家プロジェクトに参加し、日本語への確認作業が進んでいる。
- ・第63回年会で国際企画セミナーを開催する。日本語のテロップをつけるので参加してほしい。
- ・JSCC の海外発信として、学生シンポジウムの受賞者に依頼して、年に2回発行されている APFCB News の第2号に受賞演題の紹介と感想を寄稿して頂く予定。今後も継続的に紹介原稿を依頼する。

③教育委員会報告（濱田 教育担当理事・委員長）

- ・2023年度認定臨床化学者は、新規10名中9名、更新は18名全員が承認となった。
- ・次年度より申請要項の修正をし、学生会員歴も正会員歴に含むこととした。発表の取り下げをした場合は単位として認めない。
- ・精度保証管理者制度の認定試験は、2024年1月21日（日）に文京学院大学にて開催予定。対象となる方がいたら案内をしていただきたい。更新申請は2019年度取得者が対象となる。
- ・指定講習会は今年からオンデマンドにて開催した。
- ・若手育成委員会勉強会の単位取得を決定した。発表1単位、参加0.5単位とし、認定臨床化学者更新申請の単位とする。

④学術連絡委員会報告（山田 学術連絡委員会委員長）

- ・委員会時に、各専門委員会から活動報告があった。
- ・集会・広報委員会からプロジェクトなどの活動報告を学会ホームページに掲載してほしいという依頼があり、委員会で共有した。
- ・専門委員会から、プロジェクトの進捗について報告があったが、期間内に終了していないことが多い。今後内規などを検討する。
- ・2024年度日本臨床検査医学会の共催シンポジウム担当を、リポ蛋白検査専門委員会に依頼した。

⑤集会・広報委員会報告（吉田 集会・広報委員会委員長）

- ・学会ホームページについて、専門委員会からの情報発信を依頼した。クオリティマネジメント専門委員会のバリデーションソフトは各所で活用されているが、理解不足で活用できていないことがある。ホームページに解説を掲載するなどして、ホームページを活性化していきたい。

⑥学会賞選考委員会報告（恵 学術担当理事）

- ・JSCC Student Award は応募者数24名中、日本臨床検査学教育協議会とともに抄録ベースノミネート者を10名選出した。年次学術集会時に開催する学生シンポジウムでの発表をもとに審査委員による選定にて5~6名の受賞者を決定する。
- ・学会賞の技術賞の募集要項（応募資格）等について、一部改訂した。

⑦法務委員会報告（酒瀬川 法務担当理事・委員長）

- ・利益相反アンケート調査を行った。回答率は99.0%で未回答者は2名である。
- ・利益相反調査の設問について見直しを検討中である。回答する際、勘違いなどが無いよう、設問を精査して見直しをする。回答に同じ間違いがあればQ&Aに追加する。

⑧あり方検討委員会報告（大川 あり方検討委員会委員長）

- ・理事長から、65歳以上の会員に関する対策、医師会員の増加、支部会員・企業に所属する方の個人会員を増やす、という3点について本委員会で検討してほしいという依頼があった。

- ・60歳以上の会員について、学会への要望などに関するアンケートを実施し、継続していただくための策を検討する。

⑨若手育成委員会報告（小谷 若手育成委員会委員長）

- ・10月18日に第4回若手育成委員会全国勉強会をZoomによるオンラインで行った。参加者数は、約200名だった。
- ・若手委員の学術的向上を学会で補佐していくため、今後は支部との共同研究も検討。来年3月に近畿支部との合同で現地開催の勉強会を開催予定。
- ・参加者から、支部長からの若手会員参加を促すようなアナウンスが欲しいとの要望があり、今年からは支部長宛にも案内を配信している。
- ・新しいテーマがあればご提案いただき、若手会員を盛り上げていきたい。必要であれば予算を計上し、学会からも活動を補助する。

4) 支部報告

- ・下記9つの支部から支部総会・支部例会などの報告がなされた。
 - ①北海道支部（吉田 支部長）、②東北支部（吉田 庶務担当理事）、③関東支部（小谷 支部長）、④甲信越支部（加藤 支部長）、⑤東海・北陸支部（吉田 庶務担当理事）、⑥近畿支部（上田 支部長）、⑦中国支部（末廣 支部長）、⑧四国支部（高野須 支部長代理）、⑨九州支部（吉田 庶務担当理事）

5) 企業懇話会報告（山口 企業懇話会世話人）

- ・10月28日に企業シンポジウムを開催する。
- ・10月29日に企業懇話会を開催する。三井田理事長、大川理事にも参加を依頼している。
- ・企業懇話会は年に2回開催予定。

6) 第64回年次学術集会報告（山田 年次学術集会長）

- ・2024年8月30日（金）～9月1日（日）に、ライトキューブ宇都宮（宇都宮市）で開催する。テーマは「これからも面白い臨床化学」とした。
- ・企画はこれから検討し、ホームページに公開していく。
- ・演題締め切りを3月末に予定しているため、応募をお願いしたい。

7) 須藤加代子先生 遺贈について（三浦 監事）

- ・須藤加代子先生からの遺贈に関して進展があり、不動産4件についてはすべて売却が確定した。
- ・不動産の売却と預貯金を合わせて、現在約7,400万円ある。その中から、親族への遺贈金、永代供養費用、司法書士、税理士への支払いが約1,000万円とのこと。また、今後、司法書士の立替金、司法書士費用、作業費用を支払う必要があるため、残余金は約5,000万円程度になる。
- ・この金額を本会に寄附していただくことになる。運用については、委員会を設置し、規定、運用方法を検討し、2025年度から手続きを進めていきたい。
- ・須藤先生のご意思でもある若手育成のため活用したいので、是非協力をお願いしたい。

8) その他

①日本薬系学会連合について（城野 理事）

- ・7月3日、設立総会で本会も会員登録された。
- ・代表者会議が開催された。活動としては、設立記念フォーラムなどを予定している。

5. 審議事項

1) 第66回年次学術集会長について（吉田 集会・広報委員会委員長）

- ・過去10年近く、北海道、近畿、中国、四国支部での開催が行われていない。会員数の割合で開催地区が限定されてしまう傾向もあるが、全国的な学会の発展を鑑み、集会・広報委員会で検

討した結果、第 66 回は北海道支部、恵 淑萍先生に依頼したいとの提案があり、承認された。

- ・会場の予約や日程の確定を早くする必要があるため、第 67 回は近畿、中国、四国支部に候補者を挙げていただきたいという提案があり、承認された。

2) 2024 年度選挙管理委員会について (三井田 理事長)

- ・選挙管理委員は 2 年ごとに交代している。次年度は選挙実施年度のため、選挙委員を選出する必要がある。次年度の選挙の対象外となる下記 4 名に先生にお願いしたいという提案があり、承認された。

仁井見英樹理事 (医師)、菅野光俊理事 (教育・研究職)、

川崎健治理事 (医療職)、山口哲史理事 (産業系)

6. 閉会の辞 (三井田 理事長)

- ・理事長より挨拶があり、理事会は閉会した。

以 上

2023 年 11 月 15 日

一般社団法人日本臨床化学会拡大理事会

議長

三井田 孝



議事録確認者

大川 龍之介



議事録確認者

橋口 照人

